

ぴよぴよ



2021年 11月

たかがみねこども園

北区鷹峯土天井町53

TEL: 491-3300

11月の予定

☆園庭開放♪

(11/5・金) AM10:00~11:30 場所: 園庭

園庭でのびのび遊びましょう! 車のおもちゃやローラーすべり台、ウッドデッキなど子どもに大人気の遊具がたくさんあります♪

※ 雨天の場合は中止となります。

※ 10組限定としますので、来園される場合は、必ず事前予約をしてください。

☆楽しいリトミック&新園庭

(11/17・水) AM10:00~11:30 場所: 友遊館

『楽しいリトミック』は、10:00~10:30です。その後、新園庭で遊びます。

※ 10組限定としますので、来園される場合は、必ず事前予約をしてください。

《新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来園の際のお願い》

園へお越しの際には、

- マスクを着用してください(保護者・2歳以上のお子さま)
- 事前に検温をしてください(保護者・お子さま)
- 発熱(37.5度以上)や風邪の症状(咳・鼻水・下痢など)がある場合、また、発熱等の症状が改善してから24時間経っていない場合は、利用をご遠慮ください。

ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

~おすすめ絵本~

『どうぞのいす』

作: 香山 美子 絵: 柿本 幸造 発行社: ひさかたチャイルド

うさぎさんが作った椅子をめぐって次々に繰り広げられるとりかえっこ。「どうぞ」にこめられたやさしさが伝わってくるロングセラー絵本。



自然でいっぱい遊ぼう！！



秋空が高く澄み渡り、さわやかな季節。お子さまと公園へ行ったりお家の近くを散歩したりと、戸外へ出る機会も増えます。

お外には、子どもたちの興味をひくことがたくさんあり、「これは何だろう？」「きれいだなあ」「不思議！なんでだろう？」「わぁ、すごい！」などいろいろな感情が生まれます。

■「見つける・見つめる」

見つける楽しさや喜び、満足感が得られるような遊びを取り入れていきましょう。落ち葉や小枝、どんぐりなどを集めてみましょう。ペットボトル（上部を切り取った物）にひもを通したバッグがあると、見つけたり集めたり眺めたりする楽しさを味わえます。

自分で見つけたり集めたりした物を眺められる（見つめる）機会ももつと、その喜びが持続し、興味や関心も深まっています。

■「耳を澄ませる」

自然の中にはさまざまな音やリズムがあふれています。落ち葉を踏んだり、たくさん落ちている場合は集めて葉っぱのシャワーのように上からまいてみたり、飛び込んだり、葉っぱの感触と共に音を楽しみましょう。聞こえてくる自然の音やリズムを「カサカサ」「ポタポタ」などの擬音語にたとえて表現すると、より音への興味が高まっています。

■「感触を楽しむ」

ざらざら、ゴツゴツ、ツルツル、かたい、ひんやり、あたたかいなど、さまざまな感触を味わうことで、物の性質を知ったり好奇心が刺激されたりします。同時に、「何に見える？」と声をかけると、子どもの視覚も刺激され、想像力もふくらみます。感触のおもしろさと出会うことで、さらに探索意欲が増していきます。また、触れたときの物（植物・生き物）の反応から、力加減や扱い方も学んでいきます。

いつも通っている道でも意識して歩いてみると、くもの巣やアスファルトの裂け目から出ている雑草を見つけたりと、いろいろな発見があります。また風や光を感じるということも大切です。「風が気持ちいいね」「おひさまの光がまぶしいね」「あたたかいね」などと声をかけてあげましょう。体験と言葉が結びつくことで、子どもたちの世界は広がっていきます。

子どもは心を動かされたものに出会ったとき、目をキラキラさせてじっと見つめたり、触ってみたりとそのものを感じようとします。園でもお散歩に出かけると、どんぐりを探したり、石や葉っぱの下に隠れている虫を見つけて木の枝で触ったり、捕まえたりして大騒ぎ。お友だちを集めて、「〇〇や！」「この虫は〇〇食べるねん」と自分が知っていることを教えてくれます。

私たち大人が、季節ごとの自然の変化や身近な生き物に興味を持つと、子どもたちも自然と興味を持つようになります。乳幼児期から自然と触れ合い、感じるという経験を積み重ねていくことで、知的好奇心がぐんぐん伸びていくでしょう。